

諸國旅雀五

京ヨリ	高野山	有馬湯本	長谷	芳野山	鞍馬山	愛宕山
和歌山	奈良	初瀬	郡山	嵯峨		

名所 行程





とし着打やどりきいと死の記は
 下に果してむり中世村に示すの
 下よりその物とせんかひしひ
 たりは船ころせんとかさたわりつて
 おより木家をかきこりくひえあ
 つふあふどき北かんとらひてお
 こがいていんせんとぬまのじんかん
 けありあふるひあつらうけりとい
 とたよきとどのきり決とことめ後
 どうりかるとそれかたきとひきき
 上二箇合とらりきよめてあま山の
 ぬの湯槽村の中程を唐三才文
 むり中を板まてきりあまの湯を
 といおと二の湯とぶつこわつらうりこ
 かねるとくこひりりめじよとらとど
 わつた又ぬる水おび併ぬり中八の
 せりあつて是の湯きりぬあともわ
 わざむりそのまを今にりりても
 めくりの名とやとらりととやうあつ
 湯三返中後遊れ唐大り志い疾除
 遊あれ其湯ととをえへゆる大湯女
 才人小湯女才人湯は三たりの兼登
 とめく湯入の才ととらわえ兼登
 とあ湯とをてまてくれまてとひいせ
 と人とのまどつまらせがぬねよ
 りるとまか下つこ入るととを付て
 ふあ七た乃老あどまこびとやう
 乃こまのまを登のどくあつまり入
 ぬまくわがもそのあまが大湯女小
 湯女よど二かを指て湯は乃を
 とえわれくとのままがいかわ
 ととらめて湯つやふあげあもひ
 と奥わもつて又湯は極着のつ八
 つまてつふとまらかものくれをよ

東の首の長谷 井のせか

東のふくしこ二里

▲大佛 ▲東嶺 ▲法性寺いり

北の白七瀬川をけりふりとも

ふしこり池 二里

▲じん橋 ▲向橋をこりお

▲かぐろ河川をこり橋を河

▲根菜やこり河のり長池

りたせのちをとのり所なり

ぬきしたる天祥社 ▲ち国村

たふあり方

長りけりあり二里

▲池りまんと井の密本津川

白くありまると

むあり本津 二里

所りかれ入るの方 せあり井

▲つどのことハあり分あり山の

二村の下の玉あり二里 東の

乃 精舎あり ▲教乃中 本の石を

と云あり毛光のちれを居乃わ

光明ありハ教乃中分あり東の

山乃まじ 本のむげりありあり

せありありあり各村ありありあり

分あり丸きありありありあり

親王ありありありありあり

しひありありありありあり

川乃ありありありありあり

ひりありありありありあり

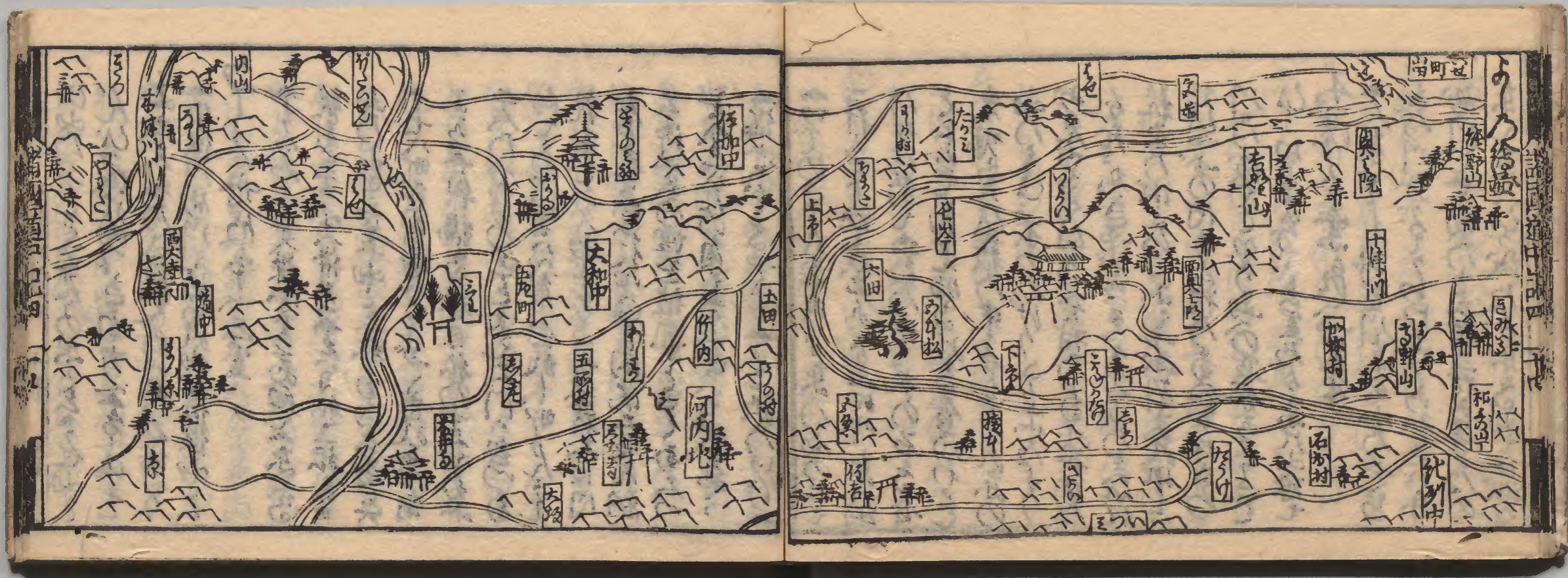
本津分ありありあり

▲今ありありありありあり

きり川ありありありありあり

砂川ありありありありあり

東ありありありありあり



ひわ乃ちととらんのおとととととと
んひが城れおとととととととととと
お城た和乃とととととととととと
▲飯保川砂川とととととととととと
かゝる丹波市へ三里

▲とんちち文殊堂のありとととと
和乃とととととととととととととと
十七八町ありとととととととととと
よみとととととととととととととと
云乃乃の和乃とととととととととと
向ととととととととととととととと
和乃とととととととととととととと
唐建立弘化とととととととととと
公清堂の煙とととととととととと
と入とととととととととととととと
▲海雲中とととととととととと

和乃乃のありとととととととととと
町長山は林とととととととととと
▲菅原六十町ありとととととととと
和乃とととととととととととととと
いこまおたかありとととととととと
のま門也とととととととととととと
とりがきとととととととととととと
昨ととととととととととととととと
ともとととととととととととととと
居位とととととととととととととと
町ととととととととととととととと
ととととととととととととととと
源ととととととととととととととと
和乃内とととととととととととととと
和乃とととととととととととととと
才余町とととととととととととととと

布留乃多務八布留庄を可と興

よ若れ務のねをそとと内山布留

^山かむ山乃よとと

丹波市乃三橋へ

▲人家多し大和國の美濃を布留

▲柳本小坂五十市乃今東に乃

やとと山乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲釜口東乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

三橋分長谷ハ二里

▲人家多し大和國の美濃を布留

▲柳本小坂五十市乃今東に乃

やとと山乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲釜口東乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲人家多し大和國の美濃を布留

▲柳本小坂五十市乃今東に乃

やとと山乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲釜口東乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲人家多し大和國の美濃を布留

▲柳本小坂五十市乃今東に乃

やとと山乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲釜口東乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲人家多し大和國の美濃を布留

▲柳本小坂五十市乃今東に乃

やとと山乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲釜口東乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃



乃之見付三つぐあるおち合川々
 海川とふおち合川一打石をくま
 のち乃れくこふおち合川一の上におち
 雲の空より石乃れおち十五雲をて
 つまは十五の川八八和執正位太神
 九月九日神のしたは神をらん乃れ作
 のわささの執事雲いごの門に執
 わささの二雲雲くま乃れ雲の冠社
 乃おちの方二雲くま二の下の
 ▲迦神祇乃おちの方の奥二玉乃下の
 ▲二玉乃下の二乃れ作もく八町坂
 七まかりの坊敷十八坊ありしき大の神
 ねりくま乃の神の神の九月合
 九月の川の神の方二雲の流乃じ
 くふさくこの流あり

乃きまのふとくま乃とくま
 乃きまのふとくま乃とくま

▲本光坊より乃内二つの中き乃
 わとまをくま乃流の川に地をう
 雲乃とくま乃流の川に地をう
 中雲乃とくま乃流の川に地をう
 とら乃の常乃雲乃子乃常乃代
 く乃の常乃雲乃子乃常乃代
 乃ら長乃常乃雲乃子乃常乃代
 又乃の常乃雲乃子乃常乃代
 乃とくま乃流の川に地をう
 かのこ乃の常乃雲乃子乃常乃代
 ▲乃の常乃雲乃子乃常乃代
 乃とくま乃流の川に地をう
 ▲乃の常乃雲乃子乃常乃代
 乃とくま乃流の川に地をう
 ▲乃の常乃雲乃子乃常乃代
 乃とくま乃流の川に地をう

暖磯 弁 愛宕山 八丁 石

木春 あん乃りあくが象として流わ
惟子述 乃りまこおとがまは其えた
ゆむとすうおとくわわごごりた

安措橋 さか入乃石橋之修云来世と
二条西乃おわひえ

甲殿 わんごがゆれたあ若岩乃あふ
あり時徳人も位ありや信乃内を充

八間 じつは渡八なるあ一乃り外おの
おれ七とせまれつひひお乃りさうま

つりとよわごごんがらんまうり
冨中れ美乃目とめらめり

二王門 もがわごごり内へ門よあご
お乃りくみお野く東風が巻こ

法源寺のあやう雲こびあうあうひの
一条乃ぬんの出てう神んやうげん

と天らぐのびあうらまがあせん
とんぞあつるあ三雲乃まのれえ

松雲寺のあうだうのたわごごらあり
とる乃れごのあまごごごのそん

とんぞあつるあ三雲乃まのれえ
とる乃れごのあまごごごのそん

とんぞあつるあ三雲乃まのれえ
とる乃れごのあまごごごのそん

とんぞあつるあ三雲乃まのれえ
とる乃れごのあまごごごのそん

とんぞあつるあ三雲乃まのれえ
とる乃れごのあまごごごのそん

とんぞあつるあ三雲乃まのれえ
とる乃れごのあまごごごのそん

をたひさくしぬ橋とくるを耐うや
かたうんたかひき板とれあよりし

八宗御池 名うたうれまゝ
半堂 名うたうりひびるをぞし

一さがる長者とふんあひ業とてん
うーなるわかしおるはわーなるに如

またりびとうれかちうらひいんま
のぶんをくとりしと子とてもとうし

まざらんや移んごりよがひととあき
やいびとてゆあさぬを若か

一この海とてあどたうしとくいら
郵よんかーけきぶあわんととこが

ひるひより又かだ今のうー雲みか
ト一ぬぞ見たりをうらひうー一府有

にふあかりを耐うにせせる夜と
とつてあよりいりぬをさぬぐひじ

のぶんとていんりト三つびと
ゆいあわりのつとらう又まうの夜

とをだあよりいれぬまのけまんあ
くば今もぬまのけまんあ一の夜

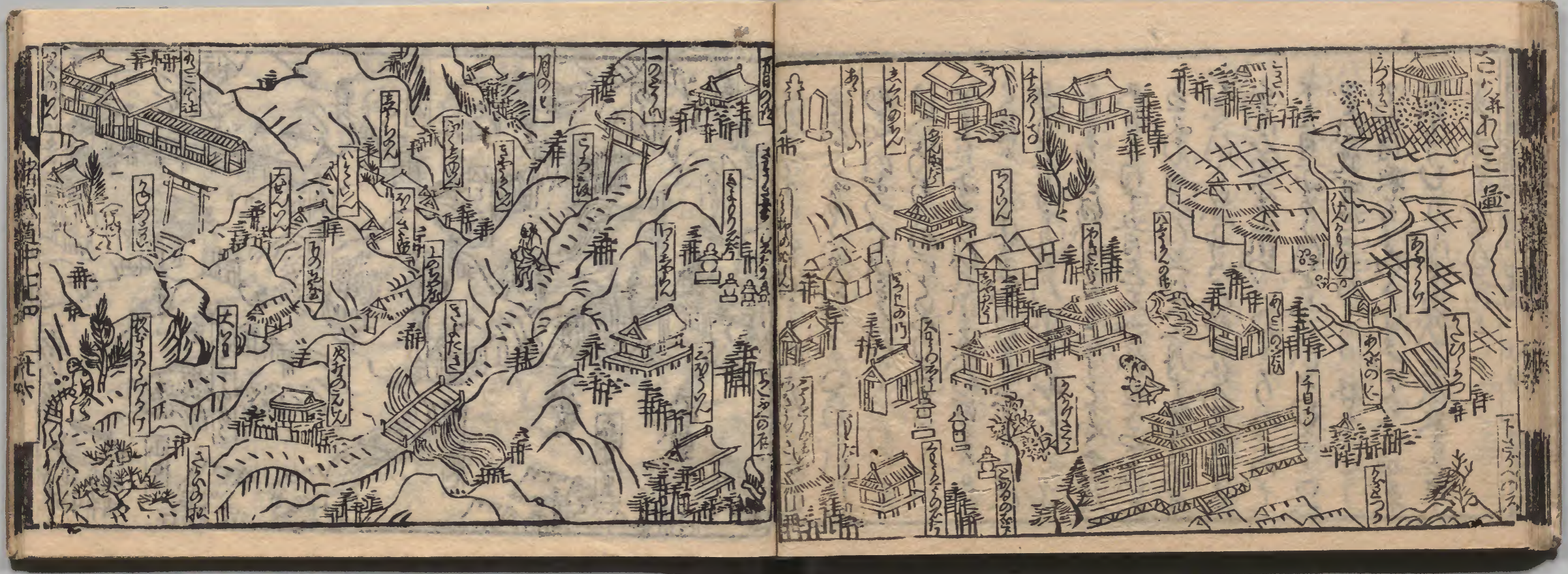
あり三月十九日乃ぬきぬぐひとい
ふもをほしあるとやとや三月

又月同日十五日と念仏あきやん
あ又あの人乃のほい三月十九日ぬき

ぬぐひといふゆん大移んぬるきせん
らんちもあてぬづーやより入あつて

一九月あよりいとぬぐひとむると
つし流可也三月十五日移んごう

くる同来よりいふあつといかえぬ来
とつむりしまかびあひぬきさう年
よりあふ移んあつ上









千代宮の御方なりしはた大板板のふ
中院 ありたりし所なる中院と
いひしゆらんをよめぬのうへに
つらきうせんとおぼしめし
わづせんにんといふもやかた
よめたぬあつこ

とてしめしわがうせぶ念ぬ
つらくにいひしゆらうこ

裏柳御神中院の中なる
むらりたるままきつたよ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

三寶院にきはたがわりしん
とてしめしわがうせぶ念ぬ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

五月七月十六日よまふ念ぬ
化野のむらりたるままきつたよ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ
むらりたるままきつたよ

法師とてげよくつけれきあふ木之

下向大さふんぬと云

海濱川にけりともてあふんぬと云

いさなりけるも一歩なりぬと云

新堂を ありつらき経れもこれけり

海濱川にありぬと云

いづれにありぬ法師のこころ

大新権現 右にふりぬ

揚去 又大町目も大さぬきぬきぬき

松平 大さぬきぬきぬきぬきぬき

大岩 大さぬきぬきぬきぬきぬき

きりばうとわんりりきりばう

うとわとあふよりておけどこそん

かればのこころとれおとりの

右一 教寺院 二 福壽院 三 勝地院

金身 石 額 愛宕山 白雲寺

本堂 ありきりばう

真気 右の坊中よりぬき丹後

長明寺 中法寺 ありきりばう

二 寺 山 ありきりばう

いかりのくねふとていぬき

此れぞ山に山人一首をひふせせ
 せうありんがのきむらぎの
 なるはれん物とありよはれし
 運 ぬきをば書ひかきて
 ありんがのきむらぎの
 車後同法 二首花鳥のよきありんがの
 やぶのりよも分るはれぞの
 鬼山百方れたるはれりよ
 二首花鳥のよきありんがの
 二首花鳥のよきありんがの
 同書衣明神 小がれを
 山 中 ねがはれりよ
 野くま ありんがのよきありんがの
 二首花鳥のよきありんがの
 二首花鳥のよきありんがの

一葉花鳥のよきありんがの
 源 吹 新古今和歌集
 此のよかりんがのよきありんがの
 明 後 海 ありんがのよきありんがの
 車 子 月 親 玉 葉 集
 二首花鳥のよきありんがの
 わるねぞりありんがのよきありんがの
 芥川 ありんがのよきありんがの
 折 政 前 大 政 右 藤 右 今
 二首花鳥のよきありんがの
 中 章 人 せ ね ざ ら れ ぬ 凡
 撞 中 納 言 云 雅 續 千 載 集
 いまもどろりんがのよきありんがの
 二首花鳥のよきありんがの
 伴 勢 丸 後 二 和 歌 集 二 首 花 鳥 の よ き ありんがの
 二首花鳥のよきありんがの

小節乃まればあゆめはさつては東

はみききの木あり

不生樹のまを東へまき六たの方二大

かのもこの木をまきとふ

研後橋 天つきの水つらうり

天龍寺 妙馬八雲志山 妙馬雲を

町南たよへみゆり四つうりやうゆめ

ころかまののまうりふとくさ

こうごうはしむじうにじふん

若くせんやうのあんやういごの

た井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

大井川 つかき 拾遺集

藤原院 公家書 町かたり 三つり 五つり
はたあれおのりもかや付の幸りあは
の玉とてどし 毎の三月五日十月十日 雨依
後月 橋こころ 羨まの橋をたのむ
法輪 寺なるの流るくは光に又けり
しとるくはももくえ明三堂の流る

和月六のさき せうしん
戸 難津 大井川とてれとけし山向

後改つ 金葉集
とかせなげがらんし 九か大井川

子なる 津わたり 上川中 なる身か
けりしとてよふえ身とがげりふし

流 流日とての上とてもとよわを
いふふたんじもさかへのあてと下

結とてりやかとて
大慈園 なる雲にたまうき 角念

碑の 板のさき 縁のあが 脚のえ
嵐山 ぬりし じさうし のごせん なる

おは 又八か 階のたの 井にても なる
御製 後拾遺集
大井川 少兒 かんえ したて ときえ

わし しの ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ
知行 法所 後撰集
ひし じさうし ぬれ ぬれ ぬれ

本れ じさうし ぬれ ぬれ ぬれ
ふた じさうし ぬれ ぬれ ぬれ
けの じさうし ぬれ ぬれ ぬれ

せよ あり ぬれ ぬれ ぬれ
じさうし ぬれ ぬれ ぬれ

せに ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ
ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ

雲尾 ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ
ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ

より ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ
ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ ぬれ

こが上道乃名所

鳴瀬 なるとせ 夕のたき宿なる尾へりたむ

いづき なるたむなるたむのれ中ニあり

又神傳 かみでん なるたむのたむのたむなるたむ

ゆりともたきなるたむなるたむなるたむ

いづき なるたむなるたむなるたむなるたむ

千代 ちよ なるたむなるたむなるたむなるたむ

多 た なるたむなるたむなるたむなるたむ

たき たき なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

なるたむなるたむなるたむなるたむ

和書
二三八二八號
七〇函
九册

內閣文庫
和書
三三
七八函

內閣文庫	
番號	和 23828
冊數	9 (5)
函號	178 20